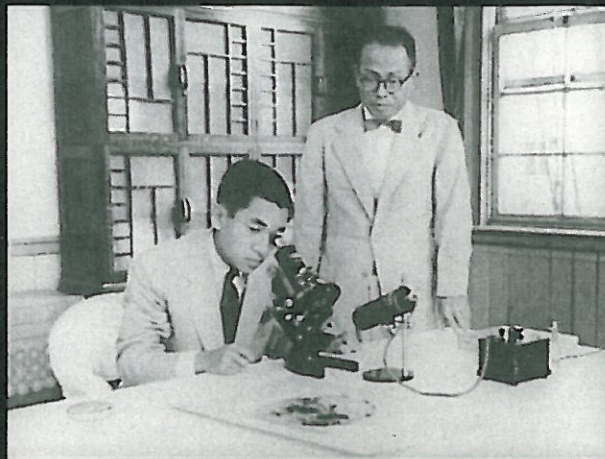




医学博士

伊藤辰治



天皇陛下（当時皇太子殿下）にご説明をする
新潟医科大学伊藤医学部長 昭和31年7月



伊藤辰治が幼少期勉強した土蔵
(小舟戸：高橋雅男氏管理)

伊藤辰治は、明治37年（1904年）2月18日に中条町小舟戸（現胎内市）の高橋忠太郎の六男として生まれました。大正5年（1916年）3月、中条町立柴橋小学校を卒業後、県立新発田中学（現県立新発田高校）に入学し、卒業後官立新潟高等学校から新潟医科大学に進学しました。

昭和3年（1928年）、新潟医科大学卒業後、同大学の病理学教室講師委託となります。この年12月中蒲原郡横越村（現新潟市）の豪農伊藤文吉の分家九郎太の養子となり、伊藤家に入ります。

昭和18年8月に新潟医科大学教授に昇任、同28年9月から6年間医学部長を務めました。昭和31年には天皇陛下（当時皇太子殿下）にツツガムシ病関係の標本等についてご説明をし、また同年に瑞光寺（新潟市）で行われた會津八一の葬儀では病理解剖診断の説明をしています。昭和59年9月には中条町名誉町民となり、翌60年1月17日に逝去されました。

柴橋小学校などには伊藤辰治揮毫による石碑が残り、小舟戸には幼少期辰治が勉強した土蔵が今も残ります。



中条町名誉町民の授賞式